

八月三十一日～九月二十三日

会津坂下町出身の画家斎藤清の「会津の冬」シリーズを中心とした墨画七

十点と版画・素描三十九点を展示し斎

藤清墨画芸術を展覧した。

(5) 「第一回具象絵画ビエンナーレ」展

九月二十八日～十月二十七日

現代日本の著名な洋画家七十二人の

描く七十二点の作品を展示し、現代の

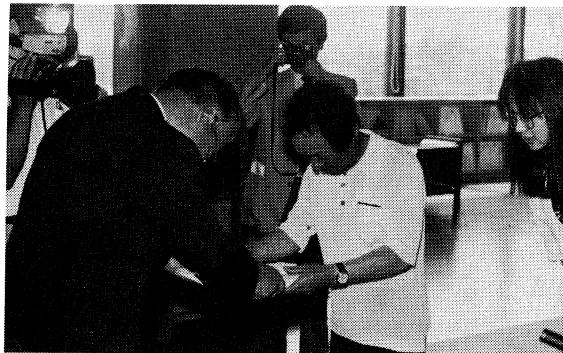
具象絵画の傾向を探るものである。

(6) 「日本の四季—京都国立近代美術館所蔵名品展」

十一月二日～十二月一日

京都国立近代美術館の所蔵作品の中

から、日本画、洋画、工芸等七十九作家の百七十点を展示し、近代美術における季節の表現を展望するものである。



10万人目の入館者記念品を贈呈

(7) 「隆世期の世界ポスター展」

二月十五日～三月二十二日（予定）

細野正信氏（東京国立博物館建築室長）

四月二十一日

エッセン・ドイツ・スター美術館所蔵作品を中心に十九世紀末から戦後にいたる世界のポスター三百余点を

展示。

○定期講演会

五月五日

「アンドリュー・ワイエスの芸術」

桑原住雄氏（武蔵野美術大学教授）

六月十五日

「アルビゾンの画家たち」

大島清次氏（美術評論家）

六月三十日

「ミレーと

○企画展講演会

五月七日

「新収蔵作品展」

五月二十八日～六月十六日

(2) 「春日部たすくの作品など」

十二月七日～十二月二十七日（予定）

(3) 「福島の美術家たちなど」

一月十日～一月三十一日（予定）

○収集

近代美術の流れを展望できるよう系統的かつ計画的な収集を進めている。

本年度は、近代日本画を代表する画家

速水御舟の作品を始め、寺崎広業、平

福百穂、石井柏亭、桂ゆき、鎌田正蔵等の作品を収集している。

○企画展講演会

講演会

「川端龍子の芸術」

を描く」「仮面をつくる」「木を使つて」「年賀状版画をつくる」等を実施

○公開制作

「エアーブラシの技法」

六月十五、十六日

「フレスコ画の制作」

九月七、八日

○美術鑑賞講座

「日本美術の流れ 彫刻、絵画、近

代の美術」「西洋美術の流れ」等を実施

○定期講演会

九月一日

「斎藤清氏に聞く」

○映画会

「鉄道員」「道」等映画史上に残る

名作を毎月一回程度上映。

○調査・研究・出版

美術館では、美術の情報センターおよ

び研究機関としての館の機能を充実

させるために、各種の調査研究を行つ

ている。主要なテーマは、「関根正二」と

大正期の美術」「近代日本水彩画史」

「県出身作家調査」等である。また本

年度末には、調査研究の成果をまとめた「紀要」、年間の事業報告書の性格

を持つ「年報」の出版を予定している。

○実技講座

「油絵の制作—静物など」「木版

の多様な表現」「陶芸教室—絵つけ

」「彫塑教室—頭像の制作」「油

絵教室2」「ヘラ彫金教室」「七宝

焼教室」等を実施

○親子の美術教室

「紙で遊ぶ—身边にある紙材を使つて」「粘土でつくる」「夢の世界

の三回無料観覧日を実施し、好評を博